

朝 監 第 41 号
令和 2 年 3 月 27 日

朝来市長 多 次 勝 昭 様

朝来市監査委員 山 下 廣 司
同 太 田 茂

令和元年度後期定期監査の結果報告について（提出）

地方自治法第199条第4項の規定による令和元年度後期定期監査を実施し、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を決定したので提出します。

令和元年度後期定期監査報告書

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

2 監査の対象

(1) 監査対象部局

産業振興部 農林振興課、観光交流課

農業委員会事務局

教育委員会事務局 学校教育課、文化財課、こども育成課、
学校給食センター

(2) 対象期間

平成31年4月1日から令和元年11月30日まで

(3) 監査対象事項

市の財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行に関して、以下の事項に主眼をおいて監査を行った。

ア 事業管理状況

イ 予算執行状況

ウ 収入事務、支出事務

エ 契約事務

オ 市単独補助金の交付状況

カ 負担金、分担金の徴収状況

キ 使用料、手数料等の滞納・収納状況

ク 施設の光熱水費の支出状況

ケ 行政財産、普通財産の使用許可状況

コ 施設、備品、現金、金券類の管理状況

サ 職員の勤怠管理、公務旅行に関する事項

3 監査の期間

令和元年12月26日から令和2年3月9日まで

4 監査の方法

書類調査として、監査対象部局から提出された監査資料、勤怠管理及び公務旅行に関する帳簿類の内容を点検した。また、実地調査として、事務事業執行状況や職員の勤務状況等に関する聞き取り、契約関係書類及び補助金交付関係書類の点検、現金及び物品の管理状況の点検、土地や施設の管理状況の実見を行った。

書類調査及び実地調査の後、監査対象部局との面談を実施し、事業の進捗やその経済性、効率性、有効性について、また、現在認識している課題とその対応策について聴取した。

また、本報告書提出に先立ち、朝来市監査事務執行規程第6条に定める講評を実施した。

5 監査の着眼点

(1) 財務事務に関すること

- ア 事務は関係法令等に基づいて適正に行われているか。
- イ 予算の執行は計画的かつ効率的に行われているか。
- ウ 契約の方法及び手続等は適切であるか。
- エ 補助事業や委託業務等の履行確認は適切に行われているか。
- オ 現金、金券類の保管及び取扱いは適切か。
- カ 財産の管理・点検体制は確立され、有効に機能しているか。

(2) 一般行政事務に関すること

- ア 事業は住民の福祉の増進に役立っているか。
- イ 事業は経済性、効率性、有効性を十分考慮されているか。
- ウ 職員の勤務状況は適正か。
- エ 業務の改善と効率化を図り、合理化に努めているか。
- オ 過去の指摘事項や監査意見に対する取組、改善がなされているか。

第2 監査の結果及び意見

1 総括

財務に関する事務の執行及び一般行政事務の執行について、各部局の取組はおおむね適正であると認められる。しかしながら、事務手続等の一部において改善を要する事項が見受けられた。以下に意見を付してその状況を記載する。

(1) 事務の執行に関すること

各部局所管の事業に関する事務は、おおむね適正に執行されている。

(2) 職員の勤怠管理に関すること

提出された就業週報・月報、休暇簿、旅行命令簿兼復命書等について7月から9月までの3月分を抽出して試査を行った。また、時間外勤務命令簿及び食糧費支出負担行為伺においては、全件の精査を行った。その結果、出退勤時刻等の表示欠落、帳簿間の勤務時間等不整合など、多くの不備・不整合事例を検出した。その多くは軽微なミスであるが、時間外勤務に係る不整合事例（時間外勤務命令簿記載の勤務終了時刻よりも早い時刻に退勤打刻を行う等）が検出されたことや時間休の休暇簿への記載欠落事例が散見されたことは憂慮すべきことと考える。

勤怠管理上の不備については、総務課作成の「出退勤管理システム入力要領」を熟知しておらず、要領に従って入力されていないことが大きな原因として挙げられるほか、課内でのチェック体制が取られていないことも要因の一つとなっている。

不備の是正に向けて、各課の取組はもとより、引き続き総務課による指導・監督の充実が望まれる。

(3) 財産の管理に関すること

備品台帳を基に備品の管理状況を点検した結果、台帳未整備、台帳外備品の保有、遊休備品の保有、数量の不一致、備品管理シール未貼付等の不備・不整合事例を検出した。全庁的な問題として、備品管理の適正化に向け、各部局の取組はもとより、引き続き財務課による指導・監督の充実が望まれる。

公用車の管理はおおむね適切であると認められる。

監査対象部局が所管する行政財産及び普通財産のうち一部の現況について実見した結果、管理においてはおおむね適切であったものの、行政財産使用許可に係る使用料の算定において誤りが確認された。適正な算定方法によって使用料を算出されたい。

(4) 現金、金券類の管理に関すること

現金の取扱いについては、いずれの部局においても適切な出納管理がなされていた。一方、郵券の管理については、それを保有する部局の一部において、保管場所が不適切、受払簿の未整備など不適切な管理が確認された。当該部局においては、保管場所や管理方法の改善が求められる。

2 部局別事業実施状況及び監査意見

監査対象部局の事務分掌、主要事務事業の実施状況、事業実施等に関する監査意見は次のとおりである。

なお、本文中の金額は千円単位で表記している。また、主要事務事業の実施状況、予算現額、支出済額及び予算執行率は、令和元年11月30日現在の状況を記載している。

(1) 産業振興部 農林振興課

ア 事務分掌

主に農業・農村振興、畜産振興、有害鳥獣対策、農業土木、夜久野高原開発、造林事業、森林経営管理事業、林道整備等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① 住みたい田舎移住促進プロジェクト事業

[予算現額 44,196 千円 支出済額 20,220 千円 執行率 45.8%]

農業の担い手の確保を主たる目的として、農業人フェアや就農者向けセミナー等への出展、新規就農研修生への支援に取り組んでいる。

② 農業機械導入支援事業

[予算現額 7,500 千円 支出済額 4,382 千円 執行率 58.4%]

農地の集積、集約を目的として、市内認定農業者及び認定新規就農者が農業の用に供する機械及び装置を新規購入又は更新するために必要な経費の補助に取り組んでいる。

③ 有害鳥獣対策事業

[予算現額 45,449 千円 支出済額 21,469 千円 執行率 47.2%]

有害鳥獣による農林業被害の防止・軽減を目的として、シカ・イノシシ等の駆除、新規狩猟者育成事業等に取り組んでいる。

④ 夜久野高原開発事業

[予算現額 31,940 千円 支出済額 5,391 千円 執行率 16.9%]

担い手への農地集積、農業の高付加価値化を目的として、夜久野高原における農地及び農業用水利施設の整備に取り組んでいる。

⑤ 森林経営管理事業

[予算現額 29,000 千円 支出済額 2,847 千円 執行率 9.8%]

山林の健全な保全、水源の涵養を目的として、管理が不適切な森林や、所有者不明のため手入れが行き届いていない森林において、私有林間伐や未利用材の搬出支援に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 新規就農者の支援について

農業の振興において、担い手の確保は重要な課題である。新規就農研修生の受け入れ体制の強化を進めるとともに、3年間の受講終了後の自立を促すような体制づくりや支援の充実を図られたい。

② 森林環境譲与税を活用した事業について

今後、森林環境譲与税の譲与額の増額が見込まれる中、これを活用した事業の本格実施に向け、事業内容の精査及び事業実施主体となる林業事業体の組織体制の強化に努められたい。

③ 但馬食肉センターの運営について

但馬食肉センターは、畜産業の基幹的施設として畜産振興の一翼を担うとともに、消費者への良品質な食肉の安定供給に寄与することが期待される。当該施設の安定的な経営が可能な体制づくりに尽力されたい。

(2) 産業振興部 観光交流課

ア 事務分掌

主に観光振興、観光施設の維持管理、観光イベント、DMO、竹田

城跡の観光施策等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① 観光交流キャンペーン事業

[予算現額 6,473 千円 支出済額 4,664 千円 執行率 72.1%]

観光振興や観光産業及び地域の活性化を目的として、特急バス広告事業、旅行エージェント等へのプロモーション活動、各種観光展出展等の観光PRに取り組んでいる。

② 観光マネジメント人材育成事業（地方創生推進交付金事業）

[予算現額 15,678 千円 支出済額 12,047 千円 執行率 76.8%]

観光振興を担う人材の育成や観光誘客の促進等を目的として、市内観光協会の統合推進及び機能強化、観光ガイドの育成、台湾・香港を対象としたプロモーション活動等に取り組んでいる。

③ 日本遺産活用事業（地方創生推進交付金事業）

[予算現額 15,000 千円 支出済額 1,250 千円 執行率 8.3%]

日本遺産と市内観光資源を結びつけることによる観光誘客の促進や観光消費の増大を目的として、関係観光資源の広報マネジメントの展開、国内外におけるデジタルマーケティング事業、バスツアーの実施、日本遺産ガイドの養成等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 観光リピーターの獲得について

本市を繰り返し訪れる観光客の獲得に引き続き努められたい。とりわけ、観光客が満足し再訪を望むような魅力ある観光地となるよう、サービスの提供や環境づくりに力を注ぐことを期待する。

② さのう高原施設の在り方について

さのう高原施設（スカイビラさのう）については、施設の老朽化に加え、豪雨や台風による被害が多発する地域に所在していることから、今後の在り方が懸案となっている。当該施設の抜本的な運営体制の見直しを含め、さのう高原全体の施設の在り方や将来計画について検討を重ねるとともに、引き続き地元区や庁内関係部局との調整・協議を進められたい。

(3) 農業委員会事務局

ア 事務分掌

農業委員会の運営、農地利用最適化対策、農業者年金事業等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① 農業委員会運営事業

[予算現額 12,932 千円 支出済額 2,792 千円 執行率 21.6%]

農地法等に基づく各種申請の審議と決定・進達、農地パトロー

ルのほか、専門委員会において農地の有効利用等に関する課題の協議や広報活動、研修活動等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

遊休農地の発生防止・解消が喫緊の課題となっている。農地中間管理機構、農林振興課等の関係機関と連携を図り、引き続き課題解決に向けた取組を推進されたい。

(4) 教育委員会事務局 学校教育課

ア 事務分掌

主に教育委員会会議、学校施設の整備・維持管理、教育に関する企画・立案・総合調整、就学援助等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① 小学校教育振興事業

[予算現額 65,453 千円 支出済額 31,647 千円 執行率 48.4%]

児童の学習意欲及び学力の向上を目的として、各学校への教材備品の購入、パソコン教室のパソコン更新やタブレット端末の整備等の教育用 I C T 環境整備に取り組んでいる。

② 中学校教育振興事業

[予算現額 28,310 千円 支出済額 17,060 千円 執行率 60.3%]

生徒の学習意欲及び学力の向上を目的として、各学校への教材備品の購入、パソコン教室のパソコン更新や無線 L A N 環境の整備等の教育用 I C T 環境整備に取り組んでいる。

③ 小学校特色ある学校づくり事業

[予算現額 1,802 千円 支出済額 695 千円 執行率 38.6%]

知・徳・体の調和を生かしながら、児童の「生きる力」を培うことを目的として、各学校において、有識者の指導による伝統文化学習や体験学習等の実践事業に取り組んでいる。

④ 中学校特色ある学校づくり事業

[予算現額 1,205 千円 支出済額 453 千円 執行率 37.6%]

知・徳・体の調和を生かしながら、生徒の「生きる力」を培うことを目的として、各学校において、有識者の指導による伝統文化学習や体験学習、講演会聴講等の実践事業に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 新学習指導要領への対応について

小学校では令和 2 年度、中学校では令和 3 年度から新学習指導要領が全面実施され、英語教育や道徳教育の充実が図られる。中でもとりわけ、プログラミング教育については、教員等の能力向上に努めるなど、スムーズな導入に向け十分な事前準備と体制づくりを図られたい。

② 学校施設の長寿命化対策について

校舎や体育館の老朽化が進む中、現在進められている学校施設等長寿命化計画の策定に当たっては、各学校施設に必要となる機能・性能を検討し、目指すべき姿を踏まえた上で計画を策定し、施設改修を計画的かつ適切に行うことができるよう努められたい。

(5) 教育委員会事務局 文化財課

ア 事務分掌

主に文化財の保護・保存・活用、埋蔵文化財発掘調査、出土品の整理・展示、歴史館・埋蔵文化財センターの運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① 埋蔵文化財センター運営管理事業

[予算現額 45,337 千円 支出済額 19,734 千円 執行率 43.5%]

埋蔵文化財センター及び茶すり山古墳学習館の運営管理、特別展等の実施、体験型学習の実施等に取り組んでいる。

② 竹田城跡保存整備事業

[予算現額 13,800 千円 支出済額 142 千円 執行率 1.0%]

竹田城跡の保護・環境整備、竹田城跡が有する価値と魅力の普及啓発を目的として、整備検討委員会の開催、整備・保護工事の実施、遺構現状確認調査の実施等に取り組んでいる。

③ 埋蔵文化財発掘調査事業

[予算現額 2,000 千円 支出済額 9 千円 執行率 0.5%]

市民が但馬地域を代表する古墳の存在を再認識し、地域への誇りと愛着を持つことを目的として、但馬の王墓と考えられる古墳の1つである長塚古墳の発掘調査の実施等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 文化財及び文化財施設の活用について

文化財保護のための環境整備や維持管理に努めていることは一定評価し得るが、整備後の活用については更なる取組が必要と考える。整備された文化財及び文化財施設が十分に生かされ、地域活性化に寄与するものとなるよう、活用の取組を強化されたい。

② 埋蔵文化財センター等の利用者増加に向けた取組について

埋蔵文化財センターは、集客力に優れた道の駅但馬のまほろばに隣接するという恵まれた環境下にある。この良好な立地環境を生かし、施設利用者の増加に寄与する措置を講じるよう努めるとともに、近年、利用者が減少傾向にある茶すり山古墳学習館についても、現行の展示や施設の在り方を見直し、利用者の増加を図るよう努め

られたい。

(6) 教育委員会事務局 こども育成課

ア 事務分掌

子ども・子育て支援事業計画の推進、市立こども園・幼稚園の管理運営・指導、私立保育所・こども園の運営支援、学童クラブの管理運営、子育て学習センターの管理運営等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① こども園運営管理事業

[予算現額 284,142 千円 支出済額 151,792 千円 執行率 53.4%]

市立認定こども園 7 園において幼児教育・保育に取り組むとともに、在宅で子育てをする家庭を対象とした子育て支援に取り組んでいる。

② 私立保育所・こども園運営支援事業

[予算現額 628,056 千円 支出済額 387,138 千円 執行率 61.6%]

市内 6 箇所の私立保育所及び私立認定こども園に対して、運営支援として委託費・給付費を支給している。

③ こども園施設整備事業

[予算現額 17,368 千円 支出済額 781 千円 執行率 4.5%]

幼児教育・保育施設の整備として、東河こども園駐車場整備について、用地買収、設計業務委託、駐車場整備工事等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 保育教諭等の確保について

必要とする保育教諭等の職員配置数の確保が困難な状況となっている。安心して子どもを産み、健やかに育成できる保育環境の充実を図るために、引き続き保育教諭等の確保に努められたい。

② 保育料等の徴収について

滞納未収金の回収促進に向けて、一層の努力を求めたい。現行の徴収活動の有効性を検証し、取組の改善を図り、一層の成果を上げるよう努められたい。

(7) 教育委員会事務局 学校給食センター

ア 事務分掌

学校給食の調理・提供、学校給食センター施設の運営・維持管理等に関する業務を担当している。

イ 主要事業の実施状況等

① 給食センター運営管理事業

[予算現額 227,114 千円 支出済額 116,251 千円 執行率 51.2%]

学校給食の調理・提供、学校給食センター施設の運営・維持管理等に取り組んでいる。

ウ 監査意見

① 学校給食費の徴収について

学校給食費の滞納未収金について、定期的な訪問徴収に取り組み、一定の成果を収めていることを評価したい。今後も取組を継続するとともに、未収金回収能率の向上にも挑まれない。

② 安全管理について

安全で安心な給食を確実に提供し続けていくために、各種安全管理の徹底に努められたい。施設、設備及び調理過程の衛生管理に細心の注意を払うことはもとより、給食配送車両の運行に関する安全管理及び指導にも十分留意されたい。